

投資型年金保険



変額個人年金保険(07)終身D3型



特別勘定（世界分散型20MU）

# 四半期運用実績レポート

2015年1月～2015年3月



【利用する投資信託の委託会社】三菱UFJ投信株式会社

三菱UFJ投信株式会社は、2005年10月の合併により、幅広い商品ラインアップと充実した販売網、そして様々な商品カテゴリーに対応できる運用体制を確立いたしました。

引き続き、広くお客さまのニーズと信頼にお応えし、質の高い運用とサービスを誠実にご提供することを目指して参ります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用対象として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。

# 変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2015年1月～2015年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 運用環境 [2015年1月～2015年3月]

### 【日本株式市場】

当該四半期の国内株式市場は上昇しました。  
1月の国内株式市場は、やや上昇しました。月前半は原油価格(NY市場)が1バレル=50米ドルを下回り、リスク回避の動きが出たことや欧州の政局不安などを受けて、株式市場は下落しましたが、月後半はECB(欧州中央銀行)が追加緩和に踏み切ったことや、原油価格が落ち着き、リスク回避の動きが弱まったことなどを好感し、株式市場は上昇しました。  
2月の株式市場は、原油価格の下げ止まりやギリシャへの金融支援延長の決定などに加えて、10-12月期実質GDP(国内総生産)が、3四半期ぶりにプラス成長に転じたことなどから、大きく上昇しました。  
3月の株式市場は、円安や原油安などによる企業の業績改善をうけて、昨年以上の買上げが見込まれるなか、景気の自律回復への期待が高まったことなどから、上昇しました。

### 【外国株式市場】

当該四半期の米国株式市場(S&P500種株価指数)、ドイツ株式市場はともに上昇しました。  
1月の米国株式市場は、小売売上高など経済指標の予想比下振れや、アナリスト予想を下回る企業決算などから、もみ合いながら下落しました。ドイツ株式市場は、ECB(欧州中央銀行)発表の追加金融緩和策が好感され、大きく上昇し、ドイツの株価は過去最高値を更新しました。  
2月の米国株式市場は、経済指標が概ね良好であったこと、米国の議会証言で明確な利上げ時期が示唆されなかったことなどから、上昇しました。ドイツ株式市場は、ギリシャ支援延長の合意、ユーロ圏の10-12月期の実質GDP(国内総生産)の結果などが好感され、上昇しました。  
3月の米国株式市場は、2月の寒波の影響や、米ドル高の進展等を背景とする企業業績の悪化懸念などから、下落しました。ドイツ株式市場は、ユーロ圏の経済指標が総じて良好であったことなどから、ドイツDAXが過去最高値を更新するなど、堅調に推移しました。

### 【日本債券市場】

当該四半期の国内債券市場は、国内長期金利(10年国債利回り)がやや上昇(債券価格は下落)しました。  
1月の長期金利は、原油価格下落による期待インフレ率の低下や日銀の金融緩和姿勢の継続などを受け、低下しました。  
2月の長期金利は、米国の長期金利の上昇などをうけて、一時0.4%台まで上昇しました。しかし、月後半には米国の議会証言で明確な利上げ時期が示唆されなかったことなどから低下し、結果として長期金利はやや上昇して取引を終えました。  
3月の長期金利は、堅調な米国雇用統計から早期の利上げ観測が浮上し、上昇したものの、月後半にはFOMC(米連邦公開市場委員会)で、利上げに慎重な姿勢が示されたことなどから低下し、結果としてやや上昇して取引を終えました。

### 【外国債券市場】

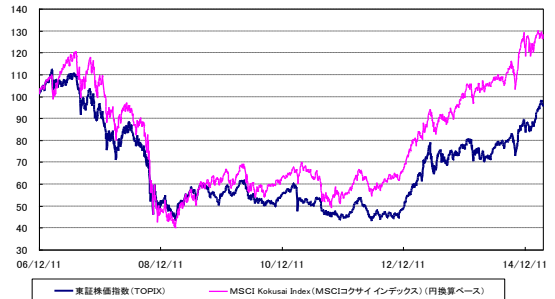
当該四半期の米国債券市場、ドイツ債券市場はともに長期金利が低下しました。  
1月の米国長期金利は原油価格の下落によりインフレ率が低位で推移するとの見方が強まったことなどから、低下基調で推移しました。ドイツの長期金利は、ECB(欧州中央銀行)が追加金融緩和策を発表したことなどから、低下しました(債券価格は過去最高値を更新)。  
2月の米国長期金利は経済指標が概ね良好な結果となったことなどから、上昇する動きとなりました。ドイツの長期金利は、ECB(欧州中央銀行)による追加緩和策を見越してユーロ圏の国債が買われ、ドイツ国債7年物の利回りが初めてマイナスを記録するなど、低下しました。  
3月の米国長期金利は、FOMC(米連邦公開市場委員会)の結果等を受けて利上げ観測がやや後退したことなどから、小幅に低下しました。ドイツの長期金利は、ECB(欧州中央銀行)によるユーロ圏の国債購入プログラムが開始されたことなどから、低下しました。

### 【外国為替市場】

当該四半期の米ドルは対円で上昇、ユーロは対円で下落しました。  
1月の米ドル(対円)は、小売売上高などの経済指標が予想比下振れしたことや原油価格の下落の影響などにより、下落しました。ユーロは、ECB(欧州中央銀行)による追加金融緩和策の発表などにより、対米ドルで約12年ぶりの水準まで大きく下落し、対円でも下落しました。  
2月の米ドル(対円)は、雇用統計始め経済指標が概ね良好な結果となったことなどから、上昇する動きとなりました。ユーロ(対円)は昨年12月の貿易統計でドイツの輸出額が過去最高となったことなどが好感され、上昇しました。  
3月の米ドルは、中東情勢が緊迫化するなか、対円で横這う一方、その他通貨に対しては概ね上昇しました。ユーロ(対円)は、ECB(欧州中央銀行)によるユーロ圏の国債購入プログラムが3月9日から開始となったことなどの影響を受け、下落しました。

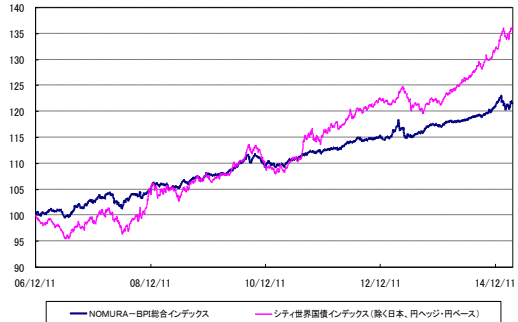
### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2006年12月11日の前営業日を100として指数化しています。

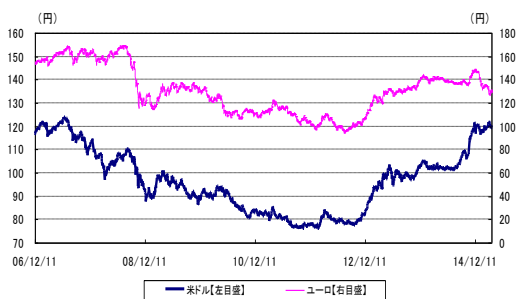


### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフはNOMURA-BPI総合インデックスは2006年12月11日の前営業日を、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)は2006年12月11日をそれぞれ100として指数化しています。



### 外国為替市場の推移



・三菱東京UFJ銀行発表の対顧客直物電信売相場の仲値(TTM)です。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額個人年金保険 (07) 終身D3型

## 特別勘定の四半期運用実績レポート (2015年1月～2015年3月)

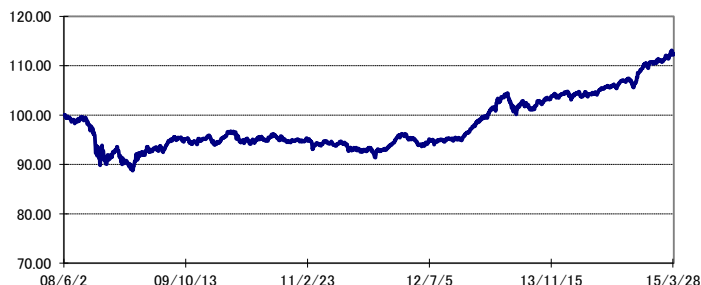
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
- ・後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定の運用状況 [2015年3月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型20MU	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当ファンドは、TOPIXマザーファンド受益証券10%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券40%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券10%、およびMUAMヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券40%を標準資産配分とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</li> <li>● 各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1カ月に1回程度リバランスを行ない、これを修正し、標準資産配分を維持します。</li> <li>● 当ファンドの主なリスク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場リスク(価格変動リスク)(為替変動リスク)</li> <li>・信用リスク</li> <li>・流動性リスク</li> </ul> </li> </ul>
利用する投資信託	
三菱UFJバランスファンドVA 20型 ＜適格機関投資家限定＞	

#### ■特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニット・プライス		騰落率	
2015年3月末	112.39	過去1ヶ月	0.30%
2015年2月末	112.06	過去3ヶ月	1.48%
2015年1月末	111.19	過去6ヶ月	4.74%
2014年12月末	110.76	過去1年	7.67%
2014年11月末	110.16	過去3年	17.15%
2014年10月末	107.67	設定来	12.39%

・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年6月2日)を100.00として計算しております。

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。  
・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型20MU	
	金額(千円)	比率
その他有価証券	4,636,549	98.8%
現預金・その他	58,629	1.2%
合計	4,695,178	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

・金額の単位未満は切捨てました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

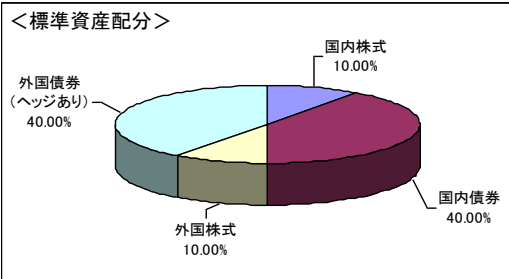
【引受保険会社】  
 アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
 TEL 0120-933-399  
 アクサ生命-ムネ-ジ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年1月～2015年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。  
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。  
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。  
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。  
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の運用状況 [2015年3月末日現在]

### ■ファンドの特色



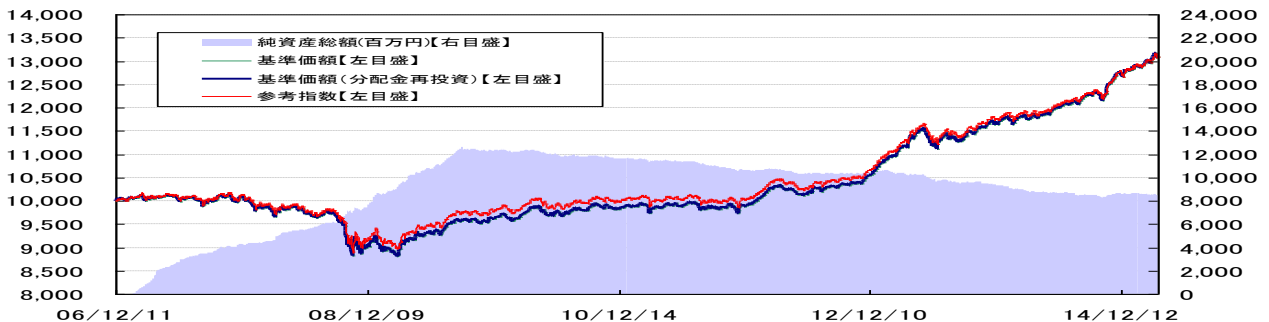
①TOPIXマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券およびMUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。

②TOPIXマザーファンド受益証券10%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券40%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券10%およびMUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券40%を標準資産配分とし、これを維持します。

③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。  
 なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。

### ■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。  
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.3024%(税抜0.28%))控除後の値です。  
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。  
 ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)10%、NOMURA-BPI総合インデックス40%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)10%およびシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

### ■概況

	2015/3/31	前月末	前月末比
基準価額	13,098円	13,030円	+68円
純資産総額(百万円)	8,500	8,619	-119

	基準価額	日付
設定来高値	13,173円	2015/3/23
設定来安値	8,810円	2009/3/10

### ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.52%	2.14%	6.20%	10.68%	26.99%	30.98%
参考指数	0.38%	1.90%	5.77%	9.95%	25.25%	30.86%
差	0.14%	0.24%	0.44%	0.73%	1.74%	0.12%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しております。

また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

### ■資産構成

	標準資産配分	ファンドの資産構成
国内株式	10.00%	9.80%
国内債券	40.00%	40.01%
外国株式	10.00%	9.98%
外国債券(ヘッジあり)	40.00%	39.84%
短期金融資産	0.00%	0.37%
合計	100.00%	100.00%

・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。

・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。

(注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

### ■分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2015/2/20	2014/2/20	2013/2/20	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

・1万円当たりの税引前分配金実績です。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
 TEL 0120-933-399  
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>



# 変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年1月~2015年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

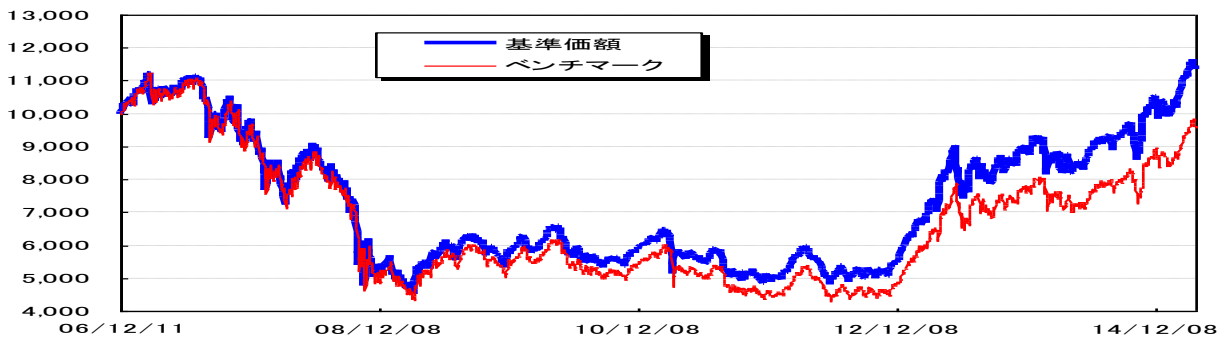
## マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の運用状況 [2015年3月末日現在]

### ■マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の特色

- ・東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・東証株価指数(TOPIX)から乖離するリスクと運用コストの極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築と適切な売買執行を行います。
- ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

### ■基準価額の推移【ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ■資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	99.55%	98.93%	0.62%
内 現物	98.00%	97.79%	0.21%
内 先物	1.54%	1.14%	0.41%

・比率は純資産総額に対する割合です。

### ■株式組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 1858 銘柄)

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	5.03%	5.13%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.56%	2.61%
3	ソフトバンク	1.58%	1.62%
4	ホンダ	1.53%	1.56%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.49%	1.52%
6	みずほフィナンシャルグループ	1.26%	1.28%
7	日本電信電話	1.24%	1.27%
8	ファナック	1.19%	1.21%
9	KDDI	1.19%	1.21%
10	キヤノン	1.07%	1.09%

・比率は純資産総額に対する割合です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

### ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.05%	10.53%	17.47%	30.66%	91.96%	13.56%
ベンチマーク	1.26%	9.63%	16.35%	28.28%	80.62%	-4.53%
差	0.79%	0.90%	1.12%	2.37%	11.34%	18.09%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

### ■株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	13.14%	13.14%
2	輸送用機器	11.73%	11.73%
3	銀行業	8.87%	8.87%
4	情報・通信業	6.68%	6.68%
5	化学	6.15%	6.15%
6	医薬品	5.04%	5.04%
7	機械	5.00%	5.00%
8	小売業	4.39%	4.39%
9	食料品	4.17%	4.17%
10	陸運業	4.09%	4.09%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年1月~2015年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

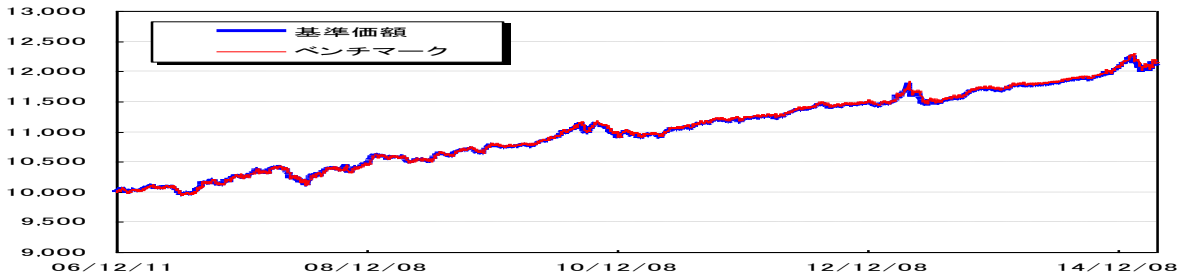
## マザーファンド(日本債券インデクスマザーファンド)の運用状況 [2015年3月末日現在]

### ■マザーファンド(日本債券インデクスマザーファンド)の特色

- ・NOMURA-BPI総合インデックスに採用されている公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合インデックスと連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
- ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

### ■基準価額の推移【ベンチマークは、NOMURA-BPI総合インデックスです】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・NOMURA-BPI総合インデックスは野村証券株式会社が公表している指数で、野村証券株式会社の知的財産です。野村証券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切関係ありません。

### ■資産構成

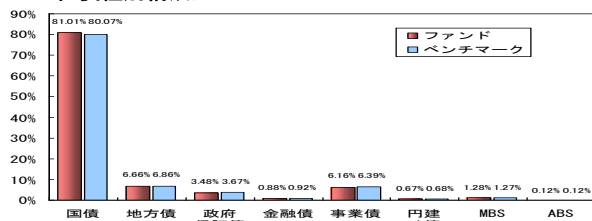
	2015/3/31	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	100.27%	99.89%	0.38%
内 現物	100.27%	99.80%	0.47%
内 先物	0.00%	0.09%	-0.09%

### ■公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 898 銘柄)

順位	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第117回利付国債(5年)	国債	0.200%	2019/3/20	1.22%
2	第116回利付国債(5年)	国債	0.200%	2018/12/20	1.15%
3	第285回利付国債(10年)	国債	1.700%	2017/3/20	1.09%
4	第329回利付国債(10年)	国債	0.800%	2023/6/20	1.06%
5	第333回利付国債(10年)	国債	0.600%	2024/3/20	0.99%
6	第334回利付国債(10年)	国債	0.600%	2024/6/20	0.99%
7	第122回利付国債(5年)	国債	0.100%	2019/12/20	0.98%
8	第106回利付国債(5年)	国債	0.200%	2017/9/20	0.95%
9	第305回利付国債(10年)	国債	1.300%	2019/12/20	0.94%
10	第102回利付国債(5年)	国債	0.300%	2016/12/20	0.91%

### ■公社債種別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

### ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.06%	-0.46%	1.64%	2.97%	7.41%	21.00%
ベンチマーク	0.07%	-0.46%	1.64%	2.97%	7.42%	21.33%
差	-0.01%	0.00%	-0.00%	-0.00%	-0.01%	-0.33%

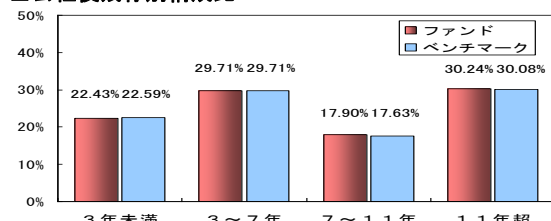
- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

### ■ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	9.10年	8.75年
修正デュレーション	8.10年	8.03年
複利利回り	0.41%	0.41%

- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・修正デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、修正デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
- ・「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

### ■公社債残存別構成比



### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年1月~2015年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。  
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用について「9/9ページ」に掲載していますので必ずご参照ください。  
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。  
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。  
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、  
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

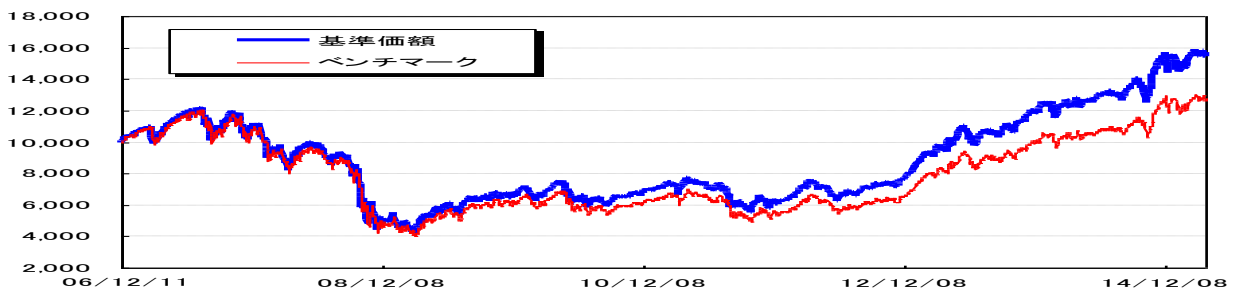
## マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の運用状況 [2015年3月末日現在]

### ■マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の特色

・MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)に採用されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)と連動する投資成果を目指した運用を行います。  
 ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。また、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。  
 ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

### ■基準価額の推移【ベンチマークは、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。  
 ・MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)は、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ■資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	99.95%	99.20%	0.75%
内 現物	98.55%	98.13%	0.42%
内 先物	1.41%	1.07%	0.34%

・比率は純資産総額に対する割合です。

### ■株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1320 銘柄)

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	ベンチマーク
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	2.35%	2.39%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.15%	1.17%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.02%	1.03%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	0.90%	0.92%
5	WELLS FARGO & CO	アメリカ	銀行	0.86%	0.87%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.80%	0.81%
7	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.79%	0.80%
8	NOVARTIS AG-REG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー	0.74%	0.75%
9	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.72%	0.74%
10	PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.71%	0.72%

・比率は純資産総額に対する割合です。

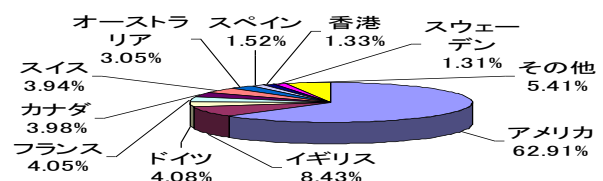
(注)当ページの比率につき、REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。  
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

### ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.17%	1.08%	14.16%	25.53%	112.98%	57.32%
ベンチマーク	-0.46%	0.44%	13.02%	22.74%	98.32%	28.47%
差	0.29%	0.64%	1.14%	2.79%	14.66%	28.85%

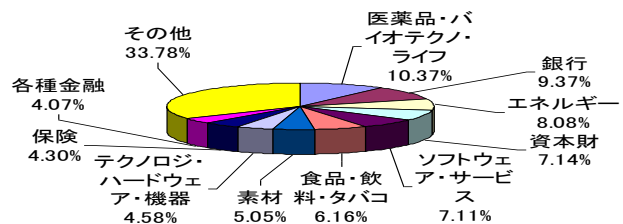
・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。  
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

### ■国別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。  
 ・国名は、投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

### ■業種別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
 TEL 0120-933-399  
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2015年1月～2015年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。  
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用について9/9ページに掲載していますので必ずご参照ください。  
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。  
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。  
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、  
 内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

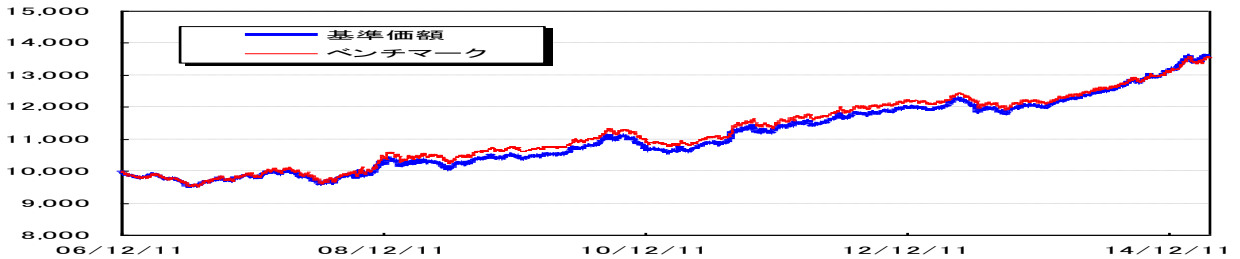
## マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の運用状況 [2015年3月末日現在]

### ■マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の特色

・世界主要国の公社債(日本を除く)を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を中長期的に上回る投資成果を目指して運用を行います。  
 ・運用にあたっては、クオンツモデルを活用することにより主要国の各債券市場を分析し、債券の残存期間構成戦略を超過収益の源泉とします。また、為替変動リスクを回避するため、原則としてフルヘッジを行います。  
 ・株式への投資は、転換社債および転換社債型新株予約権付社債の転換等により取得したものに限りです。

### ■基準価額の推移【ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJバランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)を10,000として指数化しています。  
 ・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

### ■資産構成

	2015/3/31	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.19%	98.71%	0.48%
内 現物	99.19%	98.71%	0.48%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

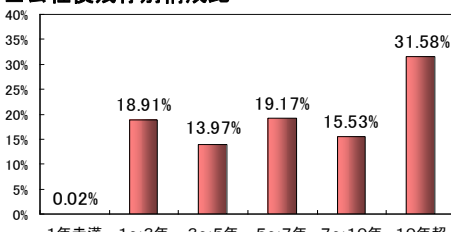
### ■公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 84銘柄)

銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1 4.75 T-NOTE 170815	国債	4.750%	2017/8/15	アメリカ	5.57%
2 6.25 T-BOND 230815	国債	6.250%	2023/8/15	アメリカ	4.89%
3 3.25 O.A.T 211025	国債	3.250%	2021/10/25	フランス	3.87%
4 2.125 T-NOTE 210815	国債	2.125%	2021/8/15	アメリカ	3.44%
5 4 T-NOTE 180815	国債	4.000%	2018/8/15	アメリカ	2.90%
6 5.25 ITALY GOVT 291101	国債	5.250%	2029/11/1	イタリア	2.75%
7 4.75 ITALY GOVT 230801	国債	4.750%	2023/8/1	イタリア	2.67%
8 4.625 T-NOTE 161115	国債	4.625%	2016/11/15	アメリカ	2.42%
9 5 ITALY GOVT 400901	国債	5.000%	2040/9/1	イタリア	2.42%
10 6.5 T-BOND 261115	国債	6.500%	2026/11/15	アメリカ	2.34%

・比率は純資産総額に対する割合です。

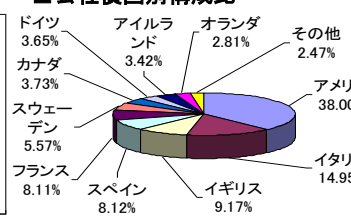
### ■公社債残存別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。

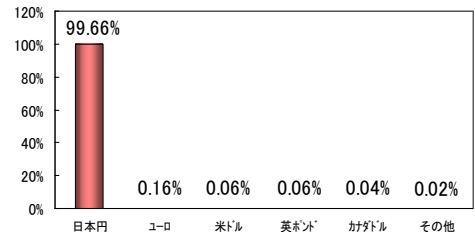
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

### ■公社債国別構成比



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

### ■通貨配分



・比率は、「外貨建て純資産ー為替ヘッジ」で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

【引受保険会社】  
 アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
 TEL 0120-933-399  
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>



## 変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について

### 【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債などで行っており、株式および公社債などの価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されます。特別勘定資産の運用リスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額などが一時払保険料を下回り、損失が生じる場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

### 【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

### 【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して <b>5.0%</b> 特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

### 【積立期間(運用期間)中および特別勘定終身年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して <b>年率2.55%</b> 積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用等に必要の費用	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.3024%程度(税抜0.28%程度)*</b> 特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- \* 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

### 【一般勘定で運用する年金の支払期間中】


※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して <b>1.0%*</b> 年金支払日に責任準備金から控除します。

- \* 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「生涯年金」は現在販売していません。

### 【取扱者(生命保険募集人)】

 **株式会社 三菱東京UFJ銀行**  
Mitsubishi UFJ Bank  
三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]  
**0120-860-777**  
月～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)  
<http://www.bk.mufg.jp>

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>